

陣馬山～高尾山

毎日新聞旅行

16日

陣馬山（857m）には私がまだ小学生の頃に登ったことがあるかもしれない。年寄りというものは、最近のことは忘れるが昔のことはよく覚えているなどと言われるが、そんなのは新米老人性痴呆者のことだ。俺みたいに筋金入りのテンネン型ボケラーの場合は、昔も今も関係ない。まあ少なくとも65年くらい前にはこんな白い馬はいなかったであろう。和田峠（690m）まではタクシーで行ってしまっただけで陣馬山・景信山などを経て高尾山（690m）まで縦走するわけであるが、高度差はわずかなものである。楽勝と思っていたがなんせ距離が長い。18km強あるっていうんだから侮ることはできない。

ツアーリーダーはおじさんの浅原さんにお婆さんの正清さん。二人とも初めてだ。正清さんは今年からまいたびのガイドを始めたということであるが、今回

は一番後ろを歩いている。私もいつも後ろの方を歩くので、後ろの方を歩いていて正清さんとは何回目かと思われる他のお客さんと話しているのを聞くと、ダンジャルムがどうの、北鎌尾根の時はどうの、と言い合っているのが岩場が好きらしい。一見してか弱い女性ふうに見えるが全然違うみたいだ。

この日は朝起きた時から左ひざに炎症と思われる痛みを感じていた。陣馬山から景信山へ向かい1時間くらい過ぎたころにはもう大丈夫であろうと思って気を抜き始めたのである。左足の踵が木の根に引っかかった。強引に前へ行こうとしたらモロにひっくり返ってしまった。またまた衰えを感じてしまった。こんなことはなかったことである。それ以降私がちょっと足を木の根に引っ掛けるたびに正清さんが私に対して神経をとがらせている様子がよく分かった。

この日の天気予報は曇りのち雨であったが、薄日もさす晴れで無風という好条件であった。



陣馬山の白馬像

